

岩見沢市防災講演会「自然災害とその備え～住民自主防災に期するもの」が開催されました。

日 時 平成 25 年 3 月 1 日 (金)

14 : 00 ~ 16 : 00

場 所 岩見沢市役所 3 階会議室

参 加 者 岩見沢市職員 59 名

市職員の方々を対象に、北海道大学名誉教授新谷融先生の講演が行なわれました。



「岩見沢市防災講演会」開催の趣旨

岩見沢市で起こるかもしれない自然災害とその対応を理解した上で、住民自主防災のあり方や重要性を市民に呼びかけることによって、住民自主を中核とした地域防災力向上を図ることを目的に開催されました。



講演

「自然災害とその備え」

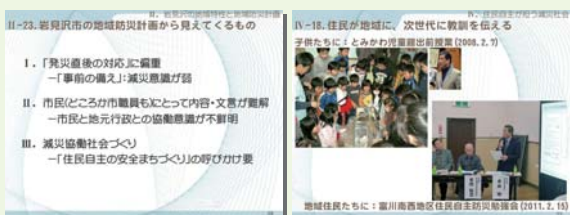
～住民自主防災に期するもの～

北海道大学名誉教授 新谷 融 氏

岩見沢市の地域特性や歴史を知ることが、どこが危ないかなど危険な場所の想定につながり得る。また岩見沢市の『地域防災計画』について、現在のものは防災担当者でも難解なものとなっている。本来市民とも共有すべきものであり、誰もがわかりやすい理解できるものに作り変えることによって、地域防災力向上につながり、活用の幅が広がるのではないかという提案もありました。

そして、他地域で行っている住民自主防災の事例の紹介があり、被害を最小限にするには、住民同士の助け合いが一番であり、次世代の子どもたちに教訓を伝えていくこと、日頃から住民への呼びかけや学習活動を行う事で、お互い協力できる関係につながっていくもののお話がありました。

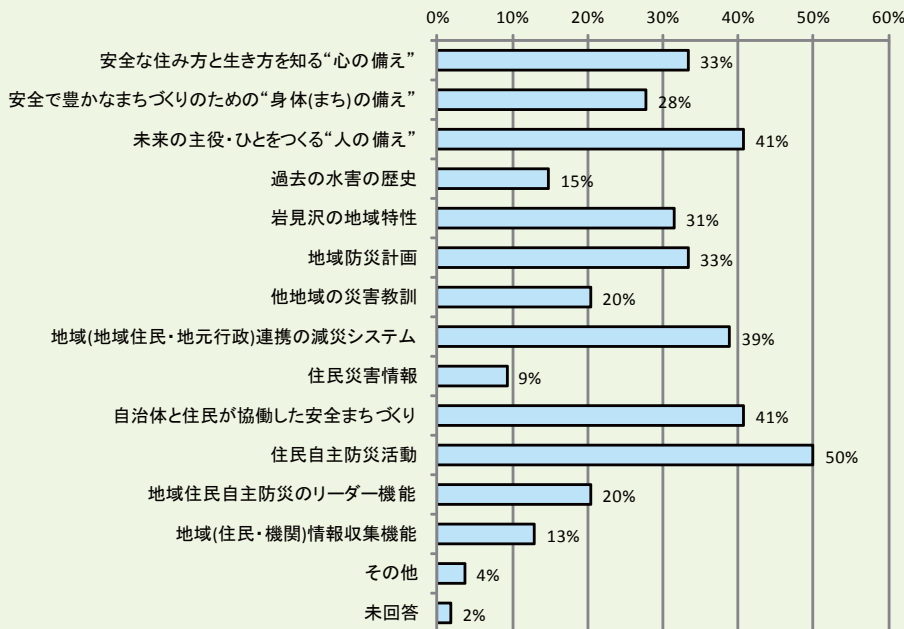
さらに地域の組織と手をつなぎ、各機関とも顔の見える関係を築くことによって災害への予防につながっていくことなどについて講演されました。



参加者の方々からの声

講演終了後に、参加者の皆様にアンケートをお願いし、多くの方からご回答をいただきました。結果の一部をご紹介します。

● 講演で、新しく学んだことや今後の参考になったことについて（複数回答）



講演については、「具体的な事例をたくさん盛り込み、軽快な話しぶりはとても楽しかった。」という意見を多く頂きました。

また、「自・共・公助の考え方や災害予防計画の意味、又、予防減災として一番大事な事は「自主」であり、危機時より平時が重要という新たな認識（考え）を持つことができた。」「住民サイドからの考え方が理解でき、今後の活動に大変参考になりました。」などのご意見も頂きました。

● 今回の講演会の感想について（自由回答）

(原文)

- 予防に関する対策の重要性は軽視されがちのため、今後、意識しようと考えます。
- 住民と一体となった活動が重要な事を思った。
- 市職員対象の研修で、組織や部署を管理する人間を対象とした、研修をして欲しい。災害が発生した現場で、明確な指示や命令が下されないで。
- 岩職員対象のみならず、市民参加の講演会の開催（職員と市民との情報の一元化）DIG やロールプレイングの実施（市民をまじえて）
- かなりわかりやすい講演でしたが、具体的に防災計画等の問題点等も時間をかけて聞いてみたいと思いました。

などたくさんのご意見ありがとうございました。

最後に

前回の「大規模水害への備えを考える水防研修」に続き今回の「岩見沢市防災講演会」は、岩見沢市全体の地域防災力向上に少しでもお役立ていただければという思いで開催したものです。皆様のご意見を参考に今後も皆様とともに学ぶ場を考えていきたいと思ひます。

ご意見やお問い合わせは下記までお気軽にお寄せください。

札幌開発建設部
河川管理課 担当：溝淵

〒060-8506 札幌市中央区北2条西19丁目
電話 011-611-0340 / FAX 011-612-0826
札幌開発建設部ホームページ <http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/>